



文化博物館だより 第215号

2008年5月17日

みなさん、こんにちは。文博では、企画展が始まりました。

作陶展の準備

『石山寺』展が終了し、撤収が済むと、『小倉健 作陶展』の展示作業が始まりました。16日には、出品作家の小倉健さんも展示の最終チェックのため来館され、作品の配置やライティングなどを見ていらっしゃいました。

2階の展示室では、90点以上の作品がほぼ年代順に並べられています。自然を表現した数々の作品のなかには、かわいらしい野鳥がとまったものや青のグラデーションで山々を表したもの等があります。

併催の『三田焼展』は1階特別展示室。大皿や人形、香炉・・・三田焼とひとくりにされる中に、こんなにも色々な作品があるのかと思うほど、多種多様です。



作品を見つめる小倉健さん

展覧会は、6月15日(日)までの開催です。

チケットプレゼントがあります

文博では、展覧会ごとにアンケートを実施しています。今回の『小倉健 作陶』展では、アンケートに協力してくださった方の中から、抽選で20組40名に夏休み特別展『ロボット大図鑑2008』(仮称)のチケットをプレゼントします。館内ロビーに設置してあるアンケートBOXに、作陶展のご感想とともに、住所・氏名など必要事項をご記入下さい。



ふるってのご参加をお待ちしています。

春季特別展が閉幕

春季特別展『石山寺の美 - 観音・紫式部・源氏物語 - 』が、5月11日に閉幕しました。期間中、10,535人の方が来場され、石山寺の歴史と源氏物語の世界をお楽しみいただきました。次の巡回先は、弘前市立博物館で、9月に展覧されます。ご来場いただいた皆様、ありがとうございました。

特別展から企画展、数日で、文博の展示が早変わりしました。企画展中は、月曜日が休館になりますので、ご注意ください。

<http://www.akashibunpaku.com> 明石市立文化博物館 編集 中村加奈子(むっちゃん)